

## 令和3年第2回美浜町議会定例会

(令和3年3月3日開議)

### 町長あいさつ

先ほどは、副議長の選挙が行われ、高橋議員がご当選されました。心よりお祝いを申し上げる次第であります。町政をとりまく環境は極めて厳しい状況にありますが、町の発展と町民の福祉向上のため存分にご活躍されますようお願い申し上げますとともに、併せて特段のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、このたびご退任されました梅津 前副議長におかれましては、1年間にわたり議会の円滑な運営にご尽力され、町政発展に寄与いただきました。改めて今日までのご苦勞とご功績に対し感謝を申し上げます。

また、議会運営委員会及び各常任委員会の委員構成が行われ、それぞれ新たな委員長、副委員長が選出されました。今後、新陣容のもとで議会活動が行われるわけですが、どうか議会としての使命にのっとり、私ども行政に対し、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、開会にあたり、町政運営に関する所信の一端を申し述べますとともに、今回ご提案いたします議案等の概要についてご説明申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルスワクチンの接種について、現在の状況について申し上げます。

町では、「新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム」を中心に、接種券の発行や、三方郡医師会、各医療機関等との協議を重ね、接種に向けた準備を進めております。

また、国は、4月12日より、65歳以上の高齢者へのワクチンの優先接種を開始する旨を公表したところですが、最初に配分されるワクチン数は限定的であるとのことで、その後の供給計画や、ワクチンの配分計画、本町における接種開

始時期などについては、見通せない状況であります。

今後とも、国や県、医師会や医療機関等と連携を密にしながら、ワクチンに関する情報が具体的にお示しできるようになりましたら、町民の皆さんが迅速かつ安心して接種していただけるよう、速やかに周知、広報を図りたいと考えております。

次に、福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会の設立について申し上げます。

かねてより、新庄地区を經由し、滋賀県側に通じる道路の整備について、諸活動が進められてまいりましたが、去る2月28日に、町内外の関係者で組織する「福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会」を設立いたしましたところであります。

今後は、原子力災害時における住民の避難経路の多重化のみならず、県域を越えた広域観光連携など、交流促進に重要な役割を果たす道路として、関係者一丸となり、早期着工に向け、活動してまいりたいと考えております。

次に、まちづくりの最上位計画であります第五次美浜町総合振興計画について申し上げます。

令和3年度を初年度とする後期基本計画につきましては、先般、議会の議決をいただき、策定をいたしましたところであります。

本計画では、町の課題や将来像を見据え、優先して取り組む事務事業を見極めることで、効率的・効果的に施策を推進することとしており、「にぎわいゾーン整備」や「人口減少対策」など、重要な5つのキーワードのもとに、中長期的な観点から、後期5年間において、計画的に取り組むことが必要な施策を「優先施策」として位置付け、集中・横断的に取り組むこととしております。

今後は、この基本計画の趣旨と内容を、町民の皆さんと共有することで、協働のまちづくりを機動的に進めていく所存であります。

それでは、5つのキーワードに基づく施策の方向性について、その一端を申し上げます。

まず、1つ目のキーワード「情報化社会の推進」について申し上げます。

人口減少や少子高齢化が進展する中であっても、I o Tで全ての人とモノがつながり、様々な知識・情報を共有することにより、新たな価値の創出が可能になってきております。

I C T基盤の整備と、それを活用した新しい施策を取り入れることにより、地域課題の解決と、地域経済の発展に資する仕組みを構築することで、次世代につながる魅力あるまちづくりを進めてまいります。

この取り組みをしっかりと進めるべく、まずは、D X（デジタル・トランスフォーメーション）、地域情報化の推進に向け、現状の分析と計画の策定を担う専任組織を整備することで、本格着手に向けた環境づくりを進めてまいります。

次に2つ目のキーワード「にぎわいゾーン整備」について申し上げます。

道の駅「はまびより」を核とし、J R美浜駅から「なびあす」までの一帯を対象として、利便性と快適性を兼ね備えた、にぎわいと交流の場を創出するとともに、交通の利便性向上につながる機能を充実することで、誰もが楽しく集う「にぎわいゾーン」を整備いたします。

このエリアでは、「はまびより」の整備に併せ、J R美浜駅舎の改修や駅前広場の再整備、観光農園の整備などを進めることで、各々の施設が有機的に連携し、相乗効果につながるよう、取り組んでまいります。

次に3つ目のキーワード「北陸新幹線敦賀開業」について申し上げます。

北陸新幹線敦賀開業を100年に一度のチャンスと捉え、三方五湖をはじめとした観光資源の魅力向上による観光誘客を図ってまいります。また、二次交通の充実や、周辺市町との連携による周遊滞在型観光の推進により、新幹線開業効果を地域に波及させることで、町の活性化につなげてまいります。

とりわけ、将来的に100万人観光地を目指すレインボーラインにつきましては、本町と、県、若狭町との連携協力による令和元年度のリニューアル工事に加え、更なる魅力向上のため、レインボーライン山麓の売店やレストラン棟の改修等を進めてまいります。

観光客のニーズを踏まえた環境を充実、強化することで、一層の誘客を図ると

ともに、若狭湾エリアを代表する周遊滞在型観光の拠点を目指してまいります。

また、新レークセンターの整備につきましても、電池推進遊覧船の発着機能をはじめ、レンタサイクルのステーションや、湖上モビリティに対応可能な施設を、運営母体となる三方五湖DMO株式会社と連携の下に整備するほか、四季折々の三方五湖の魅力を、より多くの観光客に体感していただくことを目的に、2隻目の電池推進遊覧船を建造いたします。

次に4つ目のキーワード「地域力向上」について申し上げます。

人口減少や少子高齢化社会に対応した地域福祉等の体制や機能の充実が求められる一方、集落の担い手不足や、それに起因する集落機能の低下、伝統文化の承継など、地域の課題も顕在化してきております。

また、災害に備え、自助、共助につながる地域防災力の強化が必要となっております。このような地域課題を、行政と住民が共有し、協働で取り組むための地域力の強化を図ってまいります。

その一環として高齢者が楽しみながら地域で活躍し、健康づくり等にもつながる仕組みとして「地域あいあいポイント事業」を実施することにより、町民の健康寿命の延伸や医療費・介護費の抑制と高齢者等が元気にまちづくりに参画できる取り組みを進めてまいります。

最後に、5つ目のキーワード「人口減少対策」について申し上げます。

出生数の減少や、とりわけ若年層を中心とした人口流出により、本町の人口は更に減少すると予測されております。

そのため、移住定住環境の整備、雇用の創出と創業支援、子育て環境の充実強化など、町民はもとより、若年層に支持される、住みよいまちづくりを進めることにより、人口の流出抑制やU I J ターンの促進を図ってまいります。

本町の高齢化や人口減少に起因する課題は、農業分野においても、農業従事者の高齢化や担い手不足などの問題として顕在化しつつあります。

このような状況を踏まえ、人材の確保と育成を目的とした農業人材育成拠点を整備することで、持続可能な美浜の農業の確立に向け、取り組んでまいります。

また、若年層の住宅需要に応え、町外からも子育て世帯を呼び込むための施策の一環として、新たな宅地分譲地整備に向けた取り組みを進めてまいります。また、子どもたちや、子育て世代をしっかりと支援すべく、子どもたちの成長に応じた、きめ細かな支援が、くまなく受けられるよう、施策を充実強化した「美浜ほっと子育て応援プロジェクト2021」を包括的に推進してまいります。

応援クルーとの協働によるまちづくりの推進につきましては、応援クルーが、地域住民とともに「応援ミッション」に参加いただくことで、町の活性化と、町との関係を深化させる取り組みを進めてまいります。

次に、町の脱炭素への取り組みについて申し上げます。

国の掲げる2050年脱炭素「カーボンニュートラル」に向け、本町といたしましても、美浜町エネルギービジョンに基づき、町公用車の電動化を、2031年を目標として推進してまいります。

公用車を計画的に電動車へ更新することによって、町のCO<sub>2</sub>排出量を削減し、地球温暖化防止に貢献していきたいと考えております。

さて、本日ご提案いたしました各議案につきまして、その概要と提案理由をご説明申し上げます。

議案第3号は、令和2年度美浜町農業人材育成拠点整備事業生産施設・育苗施設建設工事請負契約について、公募型プロポーザル方式により契約予定者を決定いたしましたので、請負契約を締結いたしたく、議会の議決を求めます。

議案第4号 令和2年度美浜町一般会計補正予算（第10号）につきましては、歳入歳出それぞれ4億7,074万6千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ127億7,717万1千円とするものであります。

今回の補正予算につきましては、歳出面では、国の第3次補正予算を活用し、三方五湖ゾーン整備事業やレインボーライン山頂・山麓公園の整備など、令和3

年度当初予算と一体的に実施する事業のほか、各種基金への積み立てや、新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小や本年度実施事業費の確定による減額が主なものであります。

また、歳入面では、それぞれの事業実施規模にあたって規模の適正化や実績等の確定に基づく所要の財源補正のほか、国の地方創生臨時交付金を計上し、これまで新型コロナウイルス感染症対策における補正予算の財源として活用してきた財政調整基金1億8,799万8千円の繰入金について全額を戻し入れる調整を図ったところであります。

本補正予算の主なものについて申し上げますと、美浜町総合振興計画に掲げる重要なキーワードに基づく「にぎわいゾーン整備」、「地域力向上」、「人口減少対策」施策に活用するための基金の造成に必要な積立金を、それぞれ計上いたしました。

「にぎわいゾーン整備」につきましては、「美浜町にぎわい創出基金」を新たに設置し、1億5千万円を、「地域力向上」につきましては、「災害に強いまちづくり基金」に1億1,258万5千円を、「人口減少対策」につきましては、新たな宅地分譲地造成の資金として「若者定住化対策基金積立金」に3千万円を計上いたしました。

また、キーワード「北陸新幹線敦賀開業」に基づく事業としましては、三方五湖エリアの魅力向上により、更なる観光客の誘客促進を図るため、重要な交流拠点となるレインボーライン山麓売店やレストランの整備を行う事業費として2億5,497万7千円を、また、三方五湖ゾーン整備事業では、旧レークセンターを解体し、新レークセンターを建設する整備費用に2億7,040万9千円を計上いたしました。

農林水産業費においては、坂尻漁港の機能増進を図るための堆積した土砂の浚渫工事や、物揚場や防波堤の修築工事費に2,400万円を計上いたしました。

以上が今回の補正予算の主なものでありますが、これに見合う主な財源として、国庫支出金で5億9,731万3千円、県支出金で6,395万9千円、またこれに係る町債についても7,470万円を追加するほか、町税4,477万9千円、繰越金7,116万4千円などを充当し収支の均衡を図るとともに、併せて

財源補正を行ったものであります。

次に繰越明許費であります。総務費を始め5つの款で14事業、総額20億4,550万4千円を翌年度に繰越し、実施することとしており、そのうち農林水産業費の漁港機能増進事業、商工費の三方五湖ゾーン整備事業とレインボーライン山頂・山麓公園整備事業の3事業を今般の国の補正予算に伴う繰越事業として計上いたしております。

次に、議案第5号から議案第11号までの7議案は、各特別会計の補正予算であります。それぞれの事業目的に沿った管理運営経費や事業費等の増減に伴う補正であります。

議案第5号 令和2年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第4号）につきましては、診療所における職員人件費及び医薬材料費等の減額に伴い、歳入歳出それぞれ940万7千円を減額し、予算総額を1億1,944万9千円とするものであります。

議案第6号 令和2年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）は、財政安定化支援事業繰入金増額の増額等に伴う財源の補正をするものであります。

議案第7号 令和2年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）は、後期高齢者医療広域連合納付金が不足する見込みであることから、歳入歳出それぞれ753万1千円を追加し、予算総額を1億3,242万4千円とするものであります。

議案第8号 令和2年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）につきましては、介護給付費準備基金利子を基金に積み立てるにあたり、歳入歳出それぞれ10万9千円を追加し、予算総額を12億8,084万6千円とするものであります。

議案第9号 令和2年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）につ

きましては、上水道施設へ統合するための建設改良工事に必要な資金を積み立てるため、美浜町上水道統合整備事業基金を新たに設置し、1億2,750万円を積み立てるものであります。

議案第10号 令和2年度美浜町産業団地事業特別会計補正予算（第3号）は、事業費の確定によるもので、歳入歳出をそれぞれ316万5千円減額し、予算総額を2億3,552万6千円とするものであります。

議案第11号 令和2年度美浜町道路用地取得事業特別会計補正予算（第1号）につきましても、事業費の確定によるもので、歳入歳出をそれぞれ1億8,002万2千円減額し、予算総額を3億7,564万8千円とするものであります。

議案第12号 令和3年度美浜町一般会計予算につきましても、令和3年度から「第五次美浜町総合振興計画」後期基本計画がスタートすることから、キーワードに示す優先施策に重点を置き、また、継続事業等では、特に重要かつ当初予算での対応が必要なものを厳選して計上して予算編成を行ったところ、予算総額は85億8,784万円となり前年度予算額に比べ1億9,426万1千円の増額となっております。

これは、令和6年春の北陸新幹線敦賀開業による経済効果等を最大限に享受するための投資的経費の増大から、当初予算としては、令和2年度を上回る過去最大の規模となったものであります。

なお、事業の内容につきましても、後期計画のキーワードに沿ってご説明申し上げます。

まず、1つ目のキーワード「情報化社会の推進」に係る施策について申し上げます。

地域情報化やDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進を図るため、その指針となる基本計画を策定する経費等「地域情報化推進事業」に606万4千円を、「新しい生活様式」に対応できるよう、役場内Web会議用ネットワー

くと、議会や会議資料等のペーパーレス化に向けた環境を整備する「庁舎Web会議ネットワーク整備事業」に1,604万8千円を、また、町内に整備されたLPWA網を地域課題の解決等に活用する検討経費として13万円を計上いたしました。

次に、2つ目のキーワード「にぎわいゾーン整備」に係る施策について申し上げます。

町の玄関口の役割を担う美浜駅の利便性・快適性の向上を図るため、老朽化した駅舎やトイレ等のリフレッシュ工事に6,581万7千円を、また、美浜駅前広場の拡張整備工事や、歩道部シェルターの整備に要する経費等として美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業に3億2,216万8千円などの予算を計上いたしました。

次に、3つ目のキーワード「北陸新幹線敦賀開業」に係る施策について申し上げます。

三方五湖ゾーン電池推進実証船の商用化及び、2隻目となる商用船の建造工事費等三方五湖ゾーン整備事業に2億5,778万円、合わせて、三方五湖ゾーン活性化事業に1,362万8千円を、また、観光おもてなし推進事業では、観光客の受入環境を整備する活動等を支援する経費として172万7千円などの予算を計上いたしました。

4つ目のキーワード「地域力向上」に係る施策につきましては、

子育ての不安軽減や解消方法などを学ぶ講習会等や、父親の子育て参加を促すための講演会を開催する経費等「我が家の子育てプラン事業」に149万9千円などの予算を計上いたしました。

最後に、5つ目のキーワード「人口減少対策」に係る施策につきましては、新規就農者等の人材確保、人材育成をはじめ、交流人口の拡大を図るための農業人材育成拠点整備事業に3億2,370万9千円を、農業経営開始直後の経営支援や、町内の農地や担い手の話を聞くバスツアー等を開催する新規就農支援事業に

527万円などを計上いたしました。

また、増加する空き家の利活用を促進するため、空き家ツアー開催に係る経費の他、空き家の購入やリフォーム、家賃補助等空家利活用促進事業に489万4千円を計上いたしました。

子育て支援の強化については、「美浜ほっと子育て応援プロジェクト2021」に基づき、新たな出会いの創出や新婚世帯の引っ越し費用等への支援や、婚活や結婚を応援する経費等「新たな出会い応援事業」に814万3千円を、不妊治療の助成につきましては、治療費の助成に加えて、新たに通院交通費を助成する経費を、また出産後の産後ケアサービス事業では宿泊型に加えて、新たにデイサービス型の経費を包括的に助成するなどの予算を計上いたしました。

その他の主なものといたしまして、総務費では、ケーブルテレビ施設更新事業に事業費として6億4,514万4千円を、教育費では、8月に開催されるインターハイ ボート競技の開催経費として7,289万7千円を、また、町民スポーツであるボート競技の裾野拡大を図るため、小学生を対象としたボート教室の開催やボートの町みはまをPRするための電光看板を設置する等のスポーツまちづくり推進事業に1,000万8千円を、西郷健康ひろば屋外運動場横にグラウンドゴルフ場を新たに整備する工事費として7,377万7千円の予算を計上いたしました。

一方、歳入予算につきましては、町税が37億7,748万6千円、国庫支出金11億913万8千円、県支出金12億2,433万円、繰入金5億2,986万5千円、諸収入で8億6,548万7千円などをそれぞれ充当し、収支の均衡を図った次第であります。

次に、議案第13号から議案第23号までの11議案は、令和3年度の各特別会計及び企業会計の予算であります。

これら各特別会計及び企業会計は、それぞれの設置目的に沿って事業の運営経費や建設事業費等の所要額を一般会計に準じて計上したものであり、診療所事業

特別会計など10特別会計の予算総額は37億7,595万5千円、また、上水道事業会計の予算額は3億6,550万9千円であります。

各会計の予算総額等を申し上げますと、診療所事業特別会計では、丹生及び東部診療所の医業費で、医薬品代の減額が見込まれることから対前年度比228万6千円減の1億3,626万7千円、

国民健康保険事業特別会計では、保険給付費の一般被保険者の医養費が増加したことが主な要因で、対前年度比1,224万6千円増の12億6,712万1千円、

後期高齢者医療事業特別会計では、後期高齢者医療広域連合納付金等の増加により、対前年度比1,008万9千円増の1億3,498万2千円、

介護保険事業特別会計では、保険給付費の居宅介護サービス給付費や地域密着型介護サービス給付費等の減少が見込まれることから、対前年度比9,691万5千円減の11億4,651万8千円を計上いたしました。

また、簡易水道事業特別会計では、東部簡易水道建設改良事業、菅浜簡易水道建設改良事業及び上水道統合整備事業を計上しており、予算総額は、対前年度比4,917万5千円増の2億3,208万4千円を計上しております。

集落排水処理事業特別会計につきましては、公営企業会計支援業務や集落排水処理施設修繕料等の減少により対前年度比1,972万4千円減の1億5,268万2千円を計上、

公共下水道事業特別会計では、職員人件費や公営企業会計移行支援業務、処理場修繕改築実施設計業務等の増により、対前年度比1,142万5千円増の5億950万2千円を計上いたしました。

産業団地事業特別会計では、企業誘致促進費等の減により対前年度比222万8千円減の541万円を計上しております。

住宅団地事業特別会計では、新たな宅地分譲地の整備に向け、基本設計を行うこととしており、対前年度比234万5千円減の1,826万9千円を計上いたしました。

道路用地取得事業特別会計につきましては、道の駅における国直轄整備分に係る用地購入費や用地取得補償費について、令和2年度で、契約が完了したことに

に伴い、対前年度比 3 億 8, 2 5 5 万円減の 1 億 7, 3 1 2 万円を計上いたしました。

最後に上水道事業会計であります。県営排水路工事に伴う移設工事及び郷市地区配水管布設替工事に伴い建設改良費が増加したことから、対前年度比 5, 9 2 0 万 5 千円増の 3 億 6, 5 5 0 万 9 千円を計上いたしました。

議案第 2 4 号 美浜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定につきましては、福井県国民健康保険運営方針の改定に伴い、国民健康保険税の課税額に係る規定等を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第 2 5 号 美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴い、新型コロナウイルス感染症の定義に係る規定を整理したく、本案を提出した次第であります。

議案第 2 6 号 美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定につきましては、第 8 期介護保険事業計画の策定に伴い、介護保険料の改正に係る規定等を整備したく、本案を提出した次第であります。

議案第 2 7 号 美浜町にぎわい創出基金条例の制定につきましては、町の特性を活かした新たなにぎわいの創出に必要な資金を積み立てたく、本案を提出した次第であります。

議案第 2 8 号 美浜町上水道統合整備事業基金条例の制定につきましては、簡易水道施設の上水道統合整備事業に必要な資金を積み立てたく、本案を提出した次第であります。

議案第 2 9 号 美浜町町道太田・上野線道路改良事業基金条例を廃止する条例の制定につきましては、当該事業基金の処分に伴い、関係条例を廃止したく、本案を提出した次第であります。

議案第30号につきましては、美浜町デイサービスセンターの指定管理者として、社会福祉法人 美浜町社会福祉協議会を指定したく、議会の議決を求めるものであります。

以上ご提案いたしました議案について、それぞれ概要をご説明申し上げましたが、不備な点につきましてはその都度、私又は関係者からご説明申し上げますので、何卒慎重ご審議の上妥当なご決議を賜りますようお願い申し上げます。

なお、人事案件等につきまして、本会期中に追加提案させていただきたいと考えておりますので、併せてお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。